



萌 木

4 月



調布市立第七中学校

校 長 山 田 勝

令和6年4月16日発行

～自尊・立志・感動～

かけがえのない〇〇

校長 山田 勝

4月、春を迎え、学校でも新学期がスタートしました。本校の校訓・教育目標を踏まえ、始業式では自分を大切にし、他を思いやることの大切さの話をしました。

校訓 「自尊・立志・感動」 ～徳・知・体の調和のとれた生徒の育成～

「徳」自尊 … 自分を大切にし、思いやりの心を持つ生徒

「知」立志 … 夢や目標を持ち、絶えず学び続ける生徒

「体」感動 … 心と体を鍛え、爽やかな感動を生む生徒

一人一人はかけがえのない存在です。だから、自分も他も大切にし、思いやりの心を持つことが大切です。かけがえのない存在をお互いに認め、今ともに集うかけがえのないときと、かけがえのない仲間を大切にしてほしいと思います。共に学び成長する中で、この七中がそれぞれ一人一人の生徒にとってかけがえのない学びの場になることを期待しています。

今年度も保護者の皆様のご理解とご協力、地域の皆様のお力添えにより、七中で学ぶ生徒にとって、七中が心のよりどころとなり、学びを深めることができる場となりますようよろしくお願いいたします。

地域とともにある学校を目指して

今年度より本校は学校運営協議会を設置し、学校・家庭・地域が一層の連携・協働を図り、生徒の学びの充実や人間性の育成を図る学校、コミュニティスクールとなりました。学校・家庭・地域が同じ目標やビジョンを共有し、当事者意識をもって教育を進め、持続的な体制の構築に取り組みます。三者の役割を明確にすることで、生徒・学校・保護者・地域それぞれにとって、より価値のある教育活動を進めていけるようにしたいと考えています。

このとき生徒・学校・保護者は対象が明確です。しかし地域については、愚弟的にどこのだれを対象とするのかは、それぞれの学校があるなかで、はっきりと明示されているものではありません。本校の学区域の中で、具体的対象をどう位置づけることができるのか、丁寧に見取っていきたいと思います。

4日に1回目の学校運営協議会を開催し、令和6年度の学校経営方針・分教室経営方針につきまして承認していただきました。今後も定期的を開催し、学校にとっての必要な支援や、学校と地域との関わりの中での活動についても検討し進めてまいります。

この学校だよりでも、機会を見て活動内容などをお知らせしていきますので、よろしくお願いいたします。